

令和4年11月30日

報道関係 各位

ひたちなか海浜鉄道株式会社

令和4年度上期（4～9月）決算についてお知らせします。

今期は、若干回復の兆しが見えるものの、コロナ禍前の水準には程遠く、輸送人員、営業収入とも伸び悩み、厳しい経営状況となりました。

■輸送人員 57万7,350人

（対前年比4.0%の増、令和元年比0.5%の減）

■営業収益 1億1,805万円

（対前年比9.2%の増、令和元年比19.6%の減）

1 概要

（輸送人員）

上期の輸送人員については、通勤定期は、9万12人で、前年に比べ6,956人、7.2%の減となり、また、通学定期については、30万4,920人となり、前年に比べ1万4,316人、4.5%減となりました。一方、定期外旅客は、旅行支援策県民割の対象が県内から地域ブロック内に広がったことによる県外客の増加や、通勤定期の減の要因とも思われる短期の定期利用者の1日フリー切符や回数券利用へのシフトにより、前年に比べ4万3,296人、31.1%増の18万2,418人の利用がありましたが、令和元年度と比較すると、8万3,073人、31.3%の減となりました。

この結果、定期、定期外を合わせた上期の輸送人員は、前年に比べ2万2,024人、4.0%増の57万7,350人となりましたが、令和元年度と比較すると、美乃浜学園の児童生徒の増があるにもかかわらず、2,783人、0.5%の減となりました。

（営業収支及び経常損益）

営業収入については、旅客運輸収入は定期外運賃収入の伸びにより、964万7千円、11.9%増の9,037万9千円となり、運輸雑収を加えた営業収益は、1億1,805万円で、前年度に比べ996万1千円、9.2%増加しましたが、令和元年度と比較すると、2,869万円、19.6%の減収となりました。

一方営業費については、ウクライナ情勢や急速な円安の影響による燃料の高騰などにより、前年に比べ260万1千円、2.0%増の1億3,142万円となりました。

この結果、営業外収益・費用を加えた経常損益は、1,341万2千円の赤字となりましたが、前年と比較すると721万2千円改善しました。

2. 輸送人員

(単位：人)

区 分	定期旅客			定期外旅客	合 計
	通勤定期	通学定期	定期計		
元年度上期 a	108,722	205,920	314,642	265,491	580,133
3年度上期 b	96,968	319,236	416,204	139,122	555,326
4年度上期 c	90,012	304,920	394,932	182,418	577,350
対前年比 c/b	92.8%	95.5%	94.9%	131.1%	104.0%
対元年比 c/a	82.8%	148.1%	125.5%	68.7%	99.5%

3. 営業収支・経常損益

(単位：千円)

区 分	定期旅客			定期外旅客	旅客運輸 収入合計	運輸雑収	営業収益 合 計
	通勤定期	通学定期	定期計				
元年度上期 a	18,205	25,380	43,585	71,804	115,389	31,351	146,740
3年度上期 b	16,034	26,730	42,764	37,968	80,732	27,357	108,089
4年度上期 c	15,165	24,378	39,543	50,836	90,379	27,671	118,050
対前年比 c/b	94.6%	91.2%	92.5%	133.9%	111.9%	101.1%	109.2%
対元年比 c/a	83.3%	96.1%	90.7%	70.8%	78.3%	88.3%	80.4%

区 分	営業費	営業損益	経常損益
元年度上期	144,102	2,639	3,007
3年度上期	128,819	▲20,730	▲20,624
4年度上期	131,420	▲13,369	▲13,412

お問い合わせ先 … ひたちなか海浜鉄道 吉田、海埜、大重
電話 029-262-2361